

# 教科に関連した食に関する指導

～社会科・地場産物から考える兵庫の気候～

## 1. はじめに

兵庫県は、北に日本海、南は瀬戸内海を経て太平洋に臨む広大な県土を有し、東西に連なる中国山地によって、北部は冬の寒さが厳しい日本海岸気候、南部は年間を通じて温暖・小雨な瀬戸内気候、その中間に東西に広がる地域は、日較差・年較差が大きい内陸性気候の3つの地域に大きく分かれています。

また、その地域でとれる農水産物を知ることは、兵庫県の気候の特徴を知る上において大きな手がかりになる。

そこで昨年度は、4年生の社会科単元「わたしたちの兵庫」において、県内の6行政地域でとれる主な農作物が掲載された小学生用学習資料「ひょうごの農業」を活用しながら、兵庫県の気候の特色が学習できるように兵庫県の「地図パネル」とその地域でとれる農作物の「食品カード」を作成した。

## 2. 本年度の取り組み

兵庫県でとれる農水産物に興味、関心を持たせながら気候の学習ができるように、「ひょうごの農業」や「彩り豊かなひょうごのめぐみ」のリーフレット、昨年度作成した地図パネルや食品カードを活用して具体的な指導方法を検討した。



きこう のうさんぶつ  
 気候をいかした農産物

食べもの	育ちやすいところ
ズワイガニ 	つめたい海
タコ 	あたたかい海
なし (二十世紀なし) 	雨が多く、 冬は寒いところ
お茶 	昼と夜の温度の 差が大きいところ
くり 	
黒大豆 	
あずき 	
やまのいも 	
なす 	
すいか 	
みかん 	あたたかいところ
たけのこ 	
れんこん 	
びわ 	あたたかくて、 雨が少ないところ
イチジク 	
ぶどう 	雨が少ないところ
小麦 	

「わたしたちの兵庫県」

単元目標ー 地域で生産される農産物を知り、兵庫県の地理的条件の違いに気付く。

食育の視点ー 兵庫県は、気候や風土を利用していろいろな特色のある産物が生産、加工されていることを知り、自分たちの住む兵庫県のよさに気付く。

学習活動	・教師の支援（○評価）	資料
1. 「彩り豊かなひょうごのめぐみ」を見て、兵庫県の特産物を知る。	・兵庫県は5つの地域に分かれ、地域ごとにたくさんの特産物が作られていることに気付かせる。 ○兵庫県の特産物について興味をもって、調べようとする。 (関心・意欲・態度)	・リーフレット 「彩り豊かなひょうごのめぐみ」
2. 地域の特産物から、地理的条件の違いを考える。	・日本海でとれるズワイガニ、瀬戸内海のまだこから、兵庫県の北と南では気候がずいぶん違うことに気付かせる。 ・地域の特産物は気候や風土を利用して生産されていることを知らせる。 ○豊かな恵みには、兵庫の気候が関係していることが予想できる。 (思考・判断)	・ズワイガニ、まだこの絵
3. 気候の違いがわかる特産物を選び出し、その地域の気候の特色を理解する。	・グループごとで5地域の特産物を地図に貼らせ、その中から気候を生かした特産物をホワイトボードに選び出すことで、その地域の気候や地域の特色を考えさせる。 ○兵庫の地理的条件を利用した特産物を知り、兵庫県のよさに気付く。 (知識・理解)	・兵庫県地図パネル ・農産物絵カード ・「気候を生かした農産物」のプリント
4. グループで調べた地域の特徴を発表する。	・気候を生かした農産物を中心に発表させる。調べたことを農産物を中心に発表させる。 ○調べたことをわかりやすく発表することができる。 (技能・表現) ・地産地消のよさにもふれる。	

第4学年 社会科指導略案

～『兵庫県うまいものマップ』を使って～

1. 題材 食べ物から考える兵庫の気候
2. ねらい
  - ・気候の違いによって取れる特産物が違うことに気づく。
  - ・兵庫県の地場産物を知り、地域で生産された食べ物を地域の人が消費する大切さを理解する。
3. 展開

児童の活動	指導上の留意点と支援	資料
1. ズワイガニとマダコがよく取れる地域の海の様子を知り、北と南の気候の違いについて考える。	・ズワイガニとマダコの取れる海の様子を知り、地図のどのあたりで多く取れるか確認する。 ・ズワイガニとマダコの取れる地域の気候について確認する。	・ズワイガニとマダコのカード
2. 班に分かれて、地域の地図に気候をいかした農産物のプリントに載っている食べ物カードを貼る。	・プリントの食べ物を「気候をいかした農作物」のファイルのどこに載っているか探し、食べ物カードを貼るよう指示する。 ・プリントに載っている農作物は気候をいかしたものであることを押さえる。	・「彩り豊かなひょうごのめぐみ」ファイル ・プリント ・地図 ・食べ物カード
3. 地図をくつつけて、農作物から地域の気候を考える。	・兵庫県の全体的な気候の違いを考えさせる。 ・兵庫県は日本海にも瀬戸内海にも影響を受け、豊富な農作物が取れることを確認する。	
4. 地産地消について考える。	・地産地消の良い点について説明する。	
5. 自分たちの住む兵庫県の良い所を発表する。	・気候や食べ物の特徴について振り返る。	

【指導案】

第4学年 社会科・地場産物から考える兵庫の気候

1. ねらい
  - ・兵庫県でとれる農産物の特徴を知り、地形や気候を考慮することができる。
  - ・どうして兵庫県では他県に比べ多種類の農産物がとれるのか考える。
2. 展開

学習活動	支援（・）と評価（○）	資料
1. 兵庫県で獲れる水産物が全国1位、2位のものを選び上げる。	・「彩り豊かなひょうごのめぐみ」を見て、日本海側と瀬戸内海側では同じ海でも、獲れる水産物が違うことに気付く。	・「彩り豊かなひょうごのめぐみ」、ズワイガニ・タコの絵
2. 6つの班に分かれ、それぞれの地域で作られている特色ある農産物をパネルに貼る。	・但馬、丹波、西播磨、東播磨、阪神、淡路の6つの班に分かれ、農作物カードを地図のどの辺りで作られるのか確認しながら貼りつける。 ・全ての地域を貼り合わせ、兵庫県全体を見て、どのような特徴があるのか考える。 ○地域によって作られる農産物に違いがあることに気付いたか。  <b>どうして地域によって作られる物が違うのか考えよう</b>	・地図パネル、農作物カード、セロテープ
3. 資料より農作物がおいしく育つための条件を読み取り、地域の気候を考える。	・気候や地形により育てやすい農作物が異なることから、たくさんの特産物のある兵庫県はどのような地域なのか考える。 ○北から南にかけて豊かな気候、地形に恵まれていることに気付いたか。	・資料プリント
4. 日本海側と瀬戸内海側で獲れる水産物の特徴から北と南の気候の違いを考える。	・ズワイガニ、タコが好む気候や地形から日本海、瀬戸内海の特徴を考える。 ○兵庫県全体の気候や地形の特徴がつかめたか。	

第4学年 社会科学習指導略案

指導者

1. 日 時 月 日 ( ) 校時

2. 単 元 (教材等) わたしたちの兵庫

3. 本時の目標  
兵庫県の農産物を知り、兵庫県の気候の特色を知る。

4. 本時の展開

学習活動	指導上の留意点（・支援、○評価）
1. 兵庫県の6つの地域別の特産物を調べる。 ・但馬、丹波、西播磨、東播磨、阪神、淡路 ・酒米、ふどう、なし、小麦。 ・わたしたちの農業より、特産物を見つかる。	・兵庫県のパネルを掲示し、各地域の位置関係を確認させる。 ・ひょうごの農業の冊子より、特徴ある農作物を、班ごとに調べさせる。
2. 地域ごとの特産物を確認する。 ・班ごとに前に来て貼る。	・兵庫県のパネル地図に、各地域の特産農作物のカードを貼らせ確かめさせる。
3. 兵庫県の農作物と気候について話し合う。 ・温かい。 ・冷たい。	・まだことずわいがにを例にとり、水温の差、気候の差があることに気づかせる。 ・いろいろな気候に適した農作物が兵庫県で栽培されることに気づかせる。
4. 気づいたことを発表する。 ・雪が降る ・山、平野 ・たくさん農作物がとれる	・農作物と気候の関連に気づかせ、兵庫県がいろいろな気候のある県であることを理解できるように、例をあげて補足説明を行う。

○食育の観点から：農作物とその収穫・特徴を知り、気候の関連に気づく。

7. 本時の学習（第 時 第 次）

(1) 目標

- ・果樹のように農産物の中には、その地域の気候の影響を受けやすいものがあることを知る。
- ・兵庫県でとれる農産物も調べることから、兵庫県の気候の特色を考察することができる。

(2) 展開

学習の活動と内容	教師の支援と留意点(・) 評価(○)	学習と指導をつなぐ資料
1. 兵庫県の気候について学習していくことを知り、農水産物と気候の関係について興味と関心を持つ。	・兵庫県で同じように水揚げ量の多い水産物でも、気候の影響から生息する海域が異なることを知らせ、農水産物と気候の関係について興味と関心を持たせる。	地図パネル ファイル ズワイガニとマダコの絵
2. 地域の気候と深い関係のある農作物を考察する。	・年中出回っているような農作物を例に挙げ、ハウス栽培によって、地域の気候の影響を受けにくい工夫をしている作物があることを知らせる。	
3. グループごとに地域の気候と深い関係のある農作物の食品カードをさがし、地図パネルにマッピングする。	・同じ地域でも、場所によっては気候が異なることもあるため、資料の地図と異なる場所にマッピングしないことを確かめる。	ワークシート 1 食品カード セロテープ
4. マッピングされた地図パネルから、兵庫県の気候の特色を考察する。	○地図パネルにマッピングされた食品カードを見ながら、兵庫県の気候の特色をつかむことができているか。	ワークシート 2
5. ワークシート 2 の地図の上を指でたどりながら、気候帯とその気候の特色を確認する。	・方位を示しながら、気候帯のおおまかな境を人さし指でたどりながら、気候帯とその特色を確認する。	

第 4 学年社会科

1. 主題

兵庫の地場産物を知ろう

2. 本時のねらい

- ・兵庫の農産物の特色と気候の関係を知る
- ・地産地消の大切さを知る

3. 展開

学習活動	支援(・)と評価(○)	資料
・兵庫県の地形を知る	・兵庫県は、北は日本海、南は瀬戸内海に面していることに気づかせる。	・兵庫県パネル
・兵庫の代表的な水産物「ズワイガニ」「マダコ」の生息する環境を知る。	・兵庫県は、日本海側と瀬戸内海側では、気候に大きく差があることを知らせ、「ズワイガニ」「マダコ」は、その気候に適合して生息し、日本を代表する水揚げ量を誇ることを知らせる。	・「ズワイガニ、マダコ」の絵
・兵庫県は、6つの地域に分かれていることを知る。	・兵庫県は、「但馬・丹波・西播磨・東播磨・阪神・淡路」の6つの地域に分かれることを知らせる。	
<b>兵庫県で作られる農産物やその特色を知ろう</b>		
(班活動)		
・各地域の農産物をパネルにはる。	・彩り豊かな兵庫のめぐみから、各地域の農産物を探らせる。	・農産物カード ・彩り豊かなひょうごのめぐみ
・各地域の農産物から地域の気候や特色を調べまとめる。	・ひょうごの農業・ワークシートで農産物の育ちやすい気候を調べさせる。	・ひょうごの農業 ・ワークシート
・発表する。	○兵庫県の各地域の気候のちがいと、その特色を生かした農産物を知ることができたか。	
・地産地消のよいところを話し合う。	○地産地消の大切さが分かる。 ・新鮮で安全 ・安心 ・地域の連携、協力関係ができる	

第 4 学年社会科 「わたしたちの兵庫」

1. ねらい
- ・それぞれの地域ごとにとれる農産物を調べ、兵庫県の気候を知る。
  - ・兵庫県の地場産物を知り、地産地消を大切にしようとする意欲を持つ。

2. 展開

学習活動	指導上の留意点	資料
1. 兵庫県のおいしい水産物を知る。	・日本海と瀬戸内海でとれる水産物と特色の違いを考えさせる。 ズワイガニ・冷たい海 深い海の中 ドロの中 マダコ・あたたかい海 浅い海の中 岩場	・水産物（ズワイガニ・マダコ）の絵
2. 兵庫県でとれる農産物を調べる。 ・各地域の農産物を調べ、パネルに貼る。  ・気候に関係のある農産物を発表ボードに貼り、気候の特徴を書く。	・パネルを配り、どこの地域か考えさせる。  ・それぞれの地域でとれる農産物と気候には、深い関係があることに気づかせる。 ・気候に関係のない農産物は、パネルに貼りつけたままにさせる。	・兵庫県で作られる農産物 ・「ひょうごの農業」 ・兵庫県のパネル ・食品カード  ・発表ボード ・気候をいかけた農産物のプリント
3. 地域ごとに農産物と気候の特徴を発表する。		・兵庫県のパネル ・発表ボード
4. 地域ごとの気候の特徴を確かめる。	・兵庫県の気候を大きく分類すると、3つに分かれることに気づかせる。 北部・冬は寒く、雪や雨の日が多い。 内陸部・昼と夜の温度の差が大きい。 南部・一年中、雨が少ない。 あたたかい日が多い。	・食べ物から考える兵庫の気候のプリント
5. 地産地消の大切さを理解する。	地・地域で 産・生産されたものを 地・地域で 消・消費する	地産地消

第 4 学年 総合的な学習指導案

(1) 単元名 食べ物から兵庫県を知ろう

(関連単元 社会科「わたしたちの住んでいる県」)

(2) 目標

- 《社会科》  
兵庫県でとれる農産物を調べ、農産物の特色と気候の関係に気づく。  
《食の視点》  
兵庫県の農産物を知り、自分たちが普段食べているものに、興味・関心を持つ。

(3) 第 1 時の展開

学習活動	留意点(○)と評価(●)
1. なぜ、「ずわいがに」と「まだこ」は、とれる所が違うのか、考えを出し合う。	○海にいる「ずわいがに」と「まだこ」の育つ環境の違いに注目させる。
2. 兵庫県の有名な農産物について意見を出し合う。	○意見が出にくい場合、玉ねぎを見せて、全国で3位であることを知らせ、興味を引き出す。
3. 6つのグループに分かれ、小学生用学習資料「ひょうごの農業」を使って、その地域でとれる農産物を調べる。	○地図パネルに兵庫県の農産物の食品カードを貼らせる。
4. 農産物の特徴について知る。	○「気候と関係の深い農産物のプリント」を用意する。

(4) 第 2 時の展開

学習活動	留意点(○)と評価(●)
1. 前回調べたことを振り返る。	○農産物は、その地域の気候を生かして生産されていることを思い出させる。
2. ホワイトボードに気候と関係の深い農産物を貼り、その地域の気候の様子を書く。	○ホワイトボードを用意する。
3. 調べたことを話し合い、グループで発表する。	●調べたことをわかりやすく発表しているか。
4. 地域の農産物と気候についてワークシートにまとめる。	○ワークシートを用意する。



### 3. おわりに

その地域の気候を含む風土とその地域で産出される農水産物やその加工品、郷土料理は、どの地域、どの国においても密接な関係があり、それがその地域の食文化の形成の大きな要因になっている。

今回は、兵庫県でとれる農水産物から、その地域の気候を考える学習の指導方法に留まったが、この手法は、日本の気候、世界の気候を学習する上において有用であると考えます。

そして、別の機会に、他地域の気候を学習した子どもたちが、その地域で産出される農水産物やその加工品、郷土料理に興味、関心を示すようになることを願いながら、本地区研究部で3年間続けてきた社会科と連携させた食に関する指導の研究を終えたいと思います。



